

板野中学校 同和教育だより

MY SKY No. 7



2000年7月4日(毎月第1・第3火曜日きまぐれ)発行

発行者

編集・文責
駐吉成正士
嗣次本知己

《《《一ロメモ》》》

7月は、「徳島県同和問題啓発推進強 調月間」^{けいはつすいしんきようちようげっかん}です。この機会に、行事が行われたり、テレビ・ラジオ・新聞などで、「部落差別をなくしましょう！」^{こうぼろかつどう}といった広報活動が行われるようです。みなさんも、この機会にちょっと考え、日頃から考えていくきっかけにしてみませんか？大きな行事について次に記しておきますので、ぜひチェックしてみてください！

Checking Out

7月15日(土) 9:25～9:40 四国放送 啓発テレビ「アワー徳島」

// 14:30～15:25 四国放送 啓発映画「あかね雲」^{あま}

7月27日(木) 13:00～ 徳島市立文化センター

同和問題意見発表, 作詞・作曲発表, 講演会「人間の生き方を考える：藤本舞一」^{ふじもとまこといち}

ぶらくもんだい いけんはっぴようかい

◇部落問題意見発表会 どうでしたか???

みなさん、先月行われた発表会はどうでしたか？学級発表、学年発表と、^{たが}互いを知り合う良い機会となったでしょうか？学年発表は全部聞かせてもらいましたし、一部学級発表にも参加させてもらいました。日頃みなさんの思っていることが聞けて、私は「すごく楽しかった～！」という感想をもつことができました。

^{さいしゅうてき}最終的に校内で^{せんこう}選考された^{げんこう}発表原稿が、次に^{けいさい}掲載したものです。どうぞ^{らん}ご覧ください。

つながりを求めて

「差別や僕やが大人になったらもうなくなるとるよなあ。」

友達がこういうふうにしやべっているのを、僕は聞いたことがあります。本当に僕らが大人になったら、差別はなくなっているのでしょうか。

最近、クラスの意見発表会で、ある子が親と部落問題について話したことを発表してくれました。話し合いの内容は、結婚についてのことでした。つい最近、その子の知りあいの人が、部落の人と結婚したそうです。しかし、まわりから祝福をうけたわけでは

なかったそうです。それでも二人はいっしょになりたいと、逃げるように結婚したということでした。誰だって結婚するときは、みんなから祝福されたいものです。それからその子は親に、

「もし、私が結婚する相手が部落の人だったらどうする。」

と聞いたそうです。するとその親は、

「そりゃあ、実際に結婚するとなると、ちょっと考えるわ。周囲の人の目も気になるし……。」

と答えたそうです。でも、その子はこれから少しずつ親と話し合っ分かってもらいたいと言っていました。

この話にもあるように、これから五年や十年たっても、部落差別がなくなっているとは思えません。今僕らが真剣に取り組んでいかなければ、いつまでも根強く残っていきと思ひます。僕も、これからの人生の中で、いつ・どこで・どのようにして差別を受けのか分からないし、また差別している人、差別されている人に出会うか分かりません。

そんな時、今年も学習会中学生集会在開かれるということを耳にしました。学習会中学生集会とは、県内の学習会に参加している中学生が集まって、部落解放に向けて話し合ひ、交流を深めていくというものです。集会での話し合ひをスムーズに行うために、本番の前に四回の実行委員会を開いています。その中で、集会運営の中心となる実行委員を決めなければなりませんでしたが、僕もそれに立候補しました。その理由は、自分が実際に話し合ひを進めて、他校の生徒ともつながりを持ちたいと思ったからです。そして、たくさんの仲間と部落解放に向け、一緒に運動していきたく思ったからです。嬉しいことに、実行委員に何十人もの方が立候補しました。僕と同じ考えの人がたくさんいるんだなと思ひ、安心しました。

この集会では、一つのテーマについて話し合ひ、意見交換をしたり、それぞれの学校での課題や問題点を出し合ひ、それについて真剣に考え、活発な意見交換が行われています。僕も去年、参加したときに、自分の学校の状況が良くないということを発表したり、それについて意見をもらったりしました。みんなが真剣に考えて、真剣に聴えてくれるので、すごく心強かったです。

今年も同じ集会在、8月3日に徳島市内の郷土文化会館というところでありまひす。去年以上にたくさんの人が参加してほしいと願っています。少しずつでも人数が増えていかなければならないと思ひ、そのために僕は実行委員になりました。参加者を増やし

「みんなダメなこともあるけど、みんなステキなところもあるんだ！」

「みんな強い面も持っているけど、みんな弱い面も持っているんだ！」

こういったことって、みんなが発言するから分かることだと思うんですね。

また、聞く側もなかなかの姿勢しせいでした。当たり前のことですが、発言をする人の方に注ちゅう目をしながら聞いていたように思えます。これもまた素晴らしいことです。真剣に聞いてくれる雰囲気があるからこそ、真剣に発言できるのだと思います。

せっかくの機会なので、いくつか感想文を紹介したいと思います。

私は全体学習の日、足が痛いたくて学校を休んでいました。夜、友達に電話して聞いてみると、おもしろかったと言っていました。それに五組の子の発表に感動したと言っていました。私もそれを聞くと、やっぱり感動しました。自分もがんばらなあかんと思いました。そして全体学習に出れていたらくや悔しかったです。みんなの発表が聞きたかったです。

私は1年の時より、もっと部落について勉強するようになりました。みんなの発表を聞くのは、自分の考えと違っていたら、また新しい考えができるから、すごく勉強になります。これからもっといっぱいいろんなことを知って、嫌なこともあるかもしれないけど、それから逃げずに、そのことも考えていきたいと思います。

次の全体学習は、絶対に出て、発表したいです。

* * * * *

本当は、やる前から「全体学習なんてめんどくさい。何でいちいちやるんだろう」と思っていました。全体学習が始まって、緊張きんちやうしながら発表しました。自分の書いた精一杯の文章を読みました。でも自分の中では、まだ何かもやもやした、すべてを言ったような気持ちではありませんでした。

6時間目の授業は吉成先生が進めてくれて、みんなが話し合いました。僕ははっきり言って勉強きんちやうが嫌いです。でも、全体学習はそんな学習とは違い、みんなで話し合う場を持てるいい勉強だなと思いました。だから僕は、みんなが集まって言いたいことが言える全体学習は、する前よりした後の方が、「また全体学習したいなあ」という、とてもいい気持ちで終われることができたので、とても良かったと思いました。

* * * * *

全体学習で、僕は3回も発表しました。せっかく書いた意見をみんなに言いたかった

からです。でも、1回目の発表の前、一人で言うのが心配だったので、隣にいたSくんと一緒に手を挙げて発表しました。3回とも全部Sくんと一緒に発表しました。一人で発表しようとする勇気が出し切れなかったけど、Sくんと一緒に発表しようとする勇気が出てきました。今、こうしてSくんと一緒に発表したけど、2年の1学期まで僕はSくんと話をしたことがありませんでした。ここまで仲良くなれて、良かったと思いました。この全体学習で、差別のことと、一人では出し切れない勇気を出してくれる仲間の大切さを学びました。

* * * * *

今年の全体学習は、去年とはまた違った実りがあったように思います。髪を染めたりしている子たちの、いつもとは違う面を見ることができたし、新たな決意を聞くこともできて、「私も！」という気にさせられました。私は、自分では外見^{がいけん}だけで人を判断^{はんだん}しているつもりはなかったけれど、無意識のうちにそういう気持ちを持っていたかもしれません。ただ、「外見だけで判断しないで。」という発表があったけれど、みんな^{おおやけ}公の場での態度や行動ってすごく印象^{いんしょう}に残ると思うから、もちろん私も含めて、一人一人がそのことを頭において生活していかなければならないと思いました。周りの非^ひを、そして何より自分の非^ひをしっかりと見つめ、できる限り改善^{かいぜん}していける自分でありたいと思いました。

授業って、時には一方的に教えられる場面もあるでしょうが、そればかりじゃなくて、意見を出したり、答えたりしながら、みんなで作りあげていくものだと思うんです。

部落問題学習の時間は、特にそうだと思うんです。先生も生徒もなく、みんなで感じたことや考えたことを出し合い、つながり合いながら互い^{わか}を解り合っていくことがないと、人のことなんか考えられませんものね。ましてや自分のことなんか見えてきませんものね。

授業の中にも出てきましたが、人の一面だけを見て判断してしまう弱さ、「あの人はダメだ」と陰口^{かげぐち}を言う弱さを、誰もが持っています。そうやって切り捨てることから生まれたのが、差別です。そういうのじゃなくて、人や自分を認めていく地道^{じみち}な作業を、みんなでしていきたいと思うんです。

今回は、今の学校生活から学級生活、そして自分自身を見つめるよい機会になったと思います。そして発言したみなさんの努力が実際に目の当たり^{ま あ}にでき、本当にうれしさと感動の気持ちでいっぱいになりました。そしてこんな時間^{きょうゆう}を共有^{きょうゆう}できたことに感謝しました。

これからもいろんなことがあると思いますが、この資料、この全体学習を通じてM子が教えてくれたことを、それぞれのがんばる場、「自分の学級」で続けていきましょうね！



意見発表の代表者は、あの後板野郡大会でも堂々と発表をしてきました。惜しくも2位^おでしたが、そのがんばりは土成中学校のみなさんにも伝わったと思います。

さて、原稿にもありましたが、学習会中学生集会の最後の実行委員会が15日^{おうじんそうごう}に^{おうじんそうごう}応神総合センターで行われます。あの作文に^お応える意味でも、ぜひ参加して、8月3日の本番に気持ちを高めてみてください。

参加希望者は、事前に私たちまで連絡を！集合は13:00、出発は13:30です。



★☆☆ ★★★ ☆☆☆★★★ ☆☆☆

- 7月6日(木)・7日(金) 四国地区同和教育研究大会(徳島県)→勉強してきませえ！保護者も行きませんか？
- 15日(土) 第5回部落解放徳島県学習会中学生集会第4回実行委員会(14:00～；応神総合センター)→学習会の希望者はみんなで行くぞ！
- 17日(月) 学習会東小校区保護者会(19:30～；東公会堂)→みんな来てね！
- 18日(火) 学習会南小校区保護者会(19:30～；南公会堂)→みんな来てね！
- 19日(水) 終業式→ヤッター夏休みみみみみ！

